



# 水都大垣ポスター展

ポスターで伝える水都おおがき — 水が紡いだ人と文化 —

2025年2月7日(金)–11日(火・祝) 9:00–21:30

じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)1階 展示ギャラリー

岐阜市橋本町1丁目10番地11 TEL058-262-0150

入場無料・会期中無休

主催:大垣市(大垣市観光・シティプロモーション推進事業)/主管:認定特定非営利活動法人 日本国際ポスター美術館

# 水都 大垣ポスター展

ポスターで伝える水都 おおがき —水が紡いだ人と文化—

2025年2月7日(金)–11日(火・祝) 9:00–21:30

じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)1階 展示ギャラリー

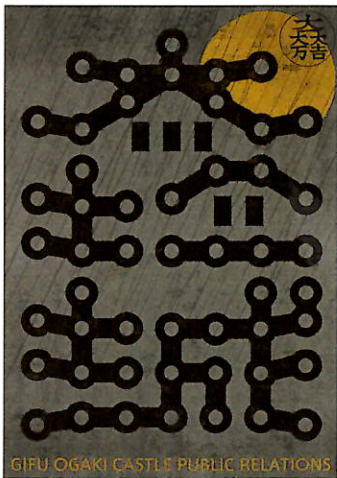
岐阜市橋本町1丁目10番地11 TEL 058-262-0150

入場無料・会期中無休

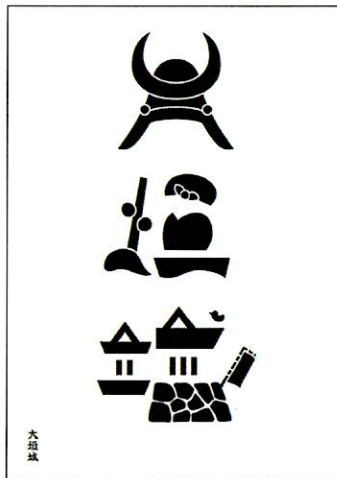
全国でも有数の自噴帯に位置する岐阜県大垣市は、豊富な地下水の恵みとともに発展してきました。昔から「水」は、大垣市民にとって非常に身近な存在であり、今も街中に見られる井戸舟からは、冷たくて美味しい地下水が自噴しています。大垣の人々の生活と文化は、今も昔も水とともにあると言っても過言ではありません。また、16世紀の初頭に築城されたとされる大垣のシンボル「大垣城」は、1600年、関ヶ原の戦いの際に、西軍 石田三成の本拠地となり、戦国時代に終わりを告げる重要な戦の一場面にも登場します。

そんな歴史ある「大垣城」の決戦前夜と、大垣の「水」をテーマに、国内外の日本国際ポスター美術館所縁のデザイナーが描いたPRポスターを展示します。大垣を訪れたことのない彼らは、写真とインターネット、史料等の文字情報を頼りに、彼らなりのリサーチを重ね、様々な発想、アイデア、切り口から作品を描きました。ユニークなアイデアによるデザイン構成、私たち日本人の発想にはない独自のインスピレーションで描かれている作品もあります。世界共通、生きるために不可欠な水と大垣の自噴水、決戦前夜の大垣城に思いを馳せながら、国内外のデザイナーの描いた個性溢れる作品をご鑑賞下さい。

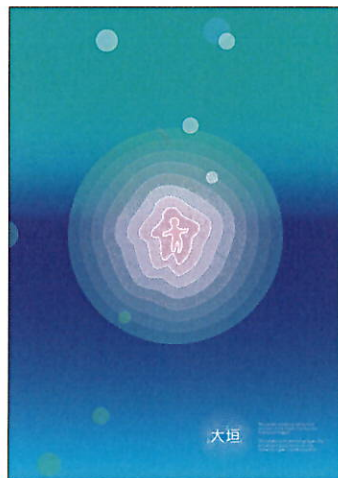
歴史ある大垣城と大垣の清らかで冷たくて美味しい水が、国内外の人々に広く知られることを願い、「水都 大垣ポスター展」を開催いたします。



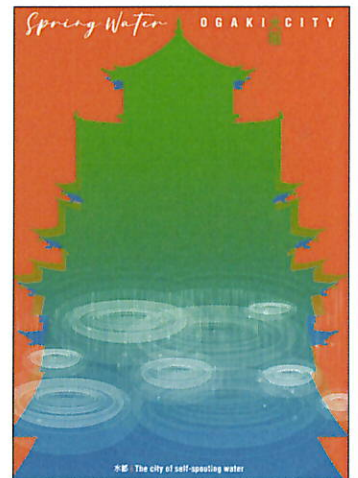
松原琉佳(日本)



木龍歩美(日本)



Iryna Olenina(ウクライナ)



Byoungil Sun(韓国)



JR岐阜駅隣接 徒歩約2分、名鉄岐阜駅より徒歩約7分 有料駐車場有(58台収容)

主催/大垣市(大垣市観光・シティプロモーション推進事業) 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地  
主管/日本国際ポスター美術館 岐阜県大垣市北方町5丁目50番地 岐阜協立大学7号館1階  
お問い合わせ: TEL 0584-77-3503 info@ogaki-postermuseum-japan.com  
(9:00–16:00/土日祝日、12月25日–1月6日休)

## 大垣市および国際ポスター美術館について

大垣市/日本列島のほぼ真中に位置しており、東西交通の要衝として発展してきました。「水都大垣」と称されるほど、全国でも有数の自噴帯に位置し、豊富な地下水に恵まれています。さらには、俳人・松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」のむすびの地であり、歴史上で重要な舞台となった「大垣城」「墨俣一夜城」の2城を要するほか、ユネスコ無形文化遺産に登録された370年余の伝統を誇る「大垣まつり」が開催されるなど、歴史情緒と伝統あふれる城下町です。

日本国際ポスター美術館/1985年から大垣の地でボランティア有志によるポスターの収集、研究、紹介を始め、1996年には日本初のポスター専門の美術館を大垣の地に開設しました。現在までに、国内外より収集してきたポスターの数は、およそ1万点近くにのぼります。近代ポスターの祖、ロートレックやミュシャ、シエラなど、100年以上前のポスターも委託所蔵しております。2006年3月、特定非営利活動法人(NPO)として新発足し、2017年3月7日、認定特定非営利活動法人となりました。



大垣市公式サイト



美術館公式サイト